

個別の教育支援計画（記入のポイント）

ふりがな		性別	生年月日	年 月 日
児童生徒氏名			学校・学年	学校 ・ 年
保護者氏名		続柄	手帳等	有・無 有 ・ 無
障がいの状況	障がい名、障がいの程度 等			手帳名（ 手帳の等級も記入する。）

現在の生活・将来に向けての希望（願い）	
本人	保護者
今伸ばしたい力、必要な配慮についての希望、将来への願い、進路 等	年度始めに、本人、保護者の希望を聞き取って記入する。

健康・情緒面	学習面	生活面・社会性
実態	実態	実態
興味関心のあること、得意なこと、苦手なこと、困っているときに見られる様子 等	できるだけ複数の目で見、担任が記入する。	

支援の目標（長期目標）	年度当初の状況を踏まえて、1年間（または1～3年間）の指導目標を記入する。
-------------	---------------------------------------

在籍校での支援内容	具体的な課題や手立て、配慮事項を記載し、個別の指導計画とリンクするようにする。
-----------	---

合理的配慮の実施内容	合意形成に基づいて実施する合理的配慮の内容を記入する。
------------	-----------------------------

その他 <small>※参考となる記録等</small>	プロフィール表を使用しない場合は、保護者の了解のもとに、これまでの支援内容や相談の記録、検査結果等も記入する。
---------------------------------	---

プロフィール表…児童生徒の家庭環境や成育歴、今までの医療・福祉との連携や、具体的な指導・支援に役立つ情報を記載したもの。

	機関名（連絡先）	支援内容	担当者
関係機関での支援内容	医療・保健	病院（主治医等）、保健所、保健センターなど	現在の通院の状況、発作等への薬での治療の状況、体への治療内容などを記入する。
	福祉・労働	児童相談所、相談支援事業所、福祉サービス事業所など	各機関からどのような支援を受けるか、今後どのような支援が必要かなどを記入する。
	家庭・地域	学童保育、放課後デイサービス、習い事など	放課後や週末などに地域で受ける支援の内容や家庭での生活や配慮事項、余暇の過ごし方を記入する。

作成	年 月 日	担任確認	校長確認	保護者確認
更新	年 月 日	担任確認	校長確認	保護者確認